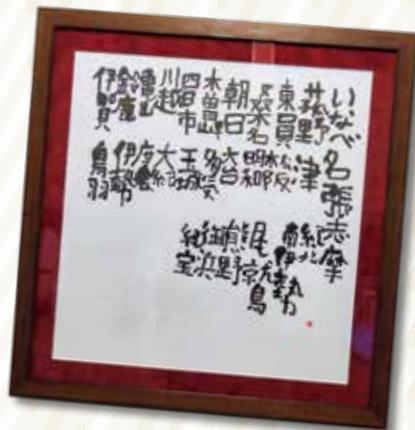
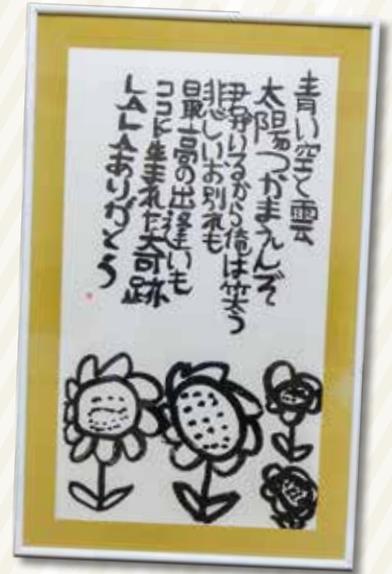
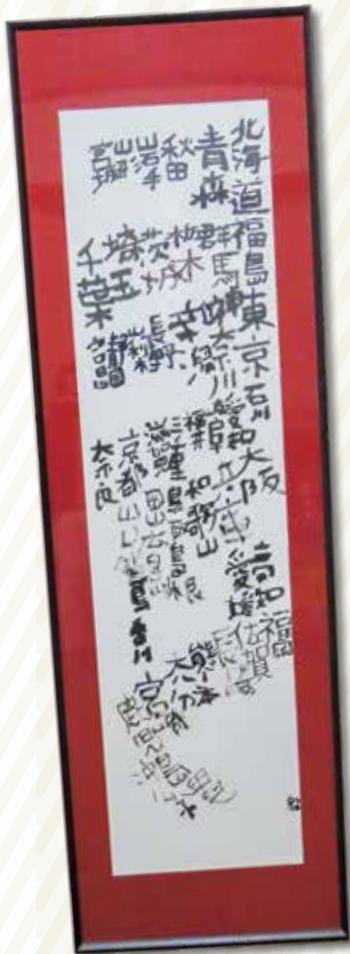


福社みえ!



亀山市在住の神野魁さんより、書道作品の写真をご提供いただきました。

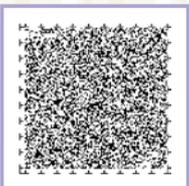
神野さんは、松阪市の書家 伊藤潤一さんに師事し、先月初めての個展を開催されました。

神野さんの作品は、インスタグラム (@ isamu.kamino) でもご覧いただけます。

福祉みえでは表紙に掲載する写真を募集しています。詳しくは本会ホームページをご覧ください。

contents

- 特集：地域とつながる学生 2
- 連載：仕事のワタシ、普段のわたし 5
- 連載：そうだ！先輩に聞こう 6
- information 7
- 三重県共同募金会からのお知らせ 8



福祉みえでは、2～4ページの特集記事に uni-voice による音声コードを導入しています。

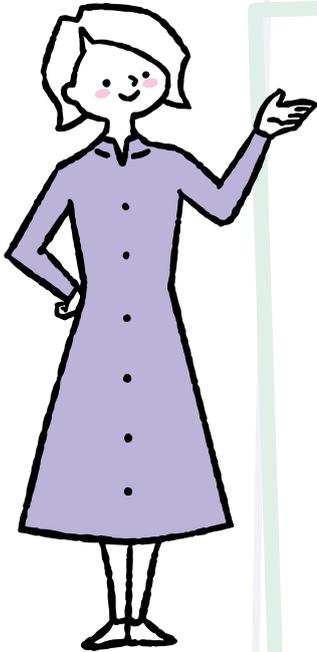
2022年 **11** 月号
No.377

ふれあいネットワーク

特集

地域とつながる学生

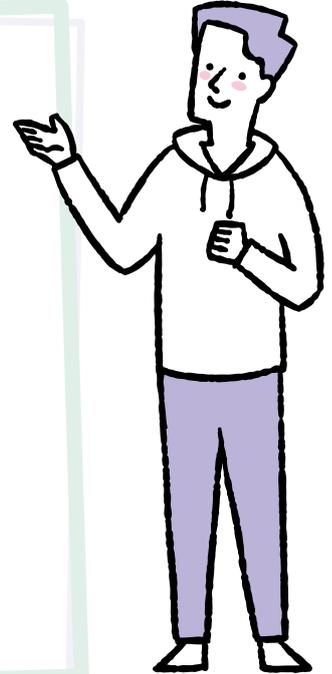
～ 皇學館おかげキャンパスプロジェクトより ～



Introduction

私たちが住まう地域社会には様々な人が暮らし、それぞれが地域での役割を担い「おかげさんの心」で助け合い、支え合っています。企業・団体などもまた、地域社会を構成する一員として、地域を支える活動に取り組んでいます。

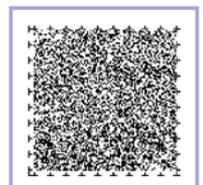
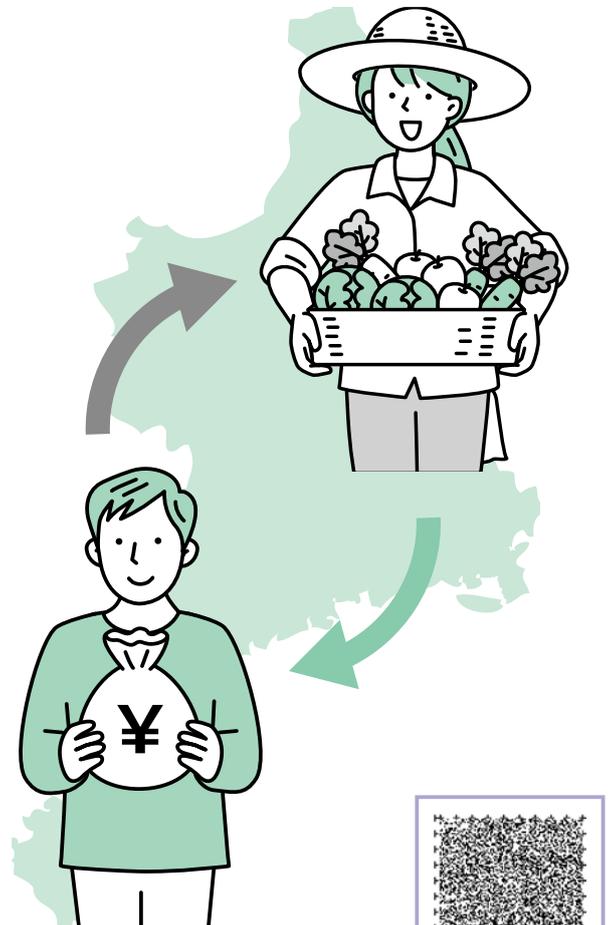
皇學館大学では、教員・学生が主体となり、地域団体や自治体等と協働して新たに取り組む地域の活性化につながる活動「皇學館おかげキャンパスプロジェクト」をおこなっています。そのなかで今回は、令和3年度におこなわれた「ベルファームと協働して、地産地消を広めようプロジェクト」を紹介します。



このプロジェクトは皇學館大学教育学部の駒田聡子教授のゼミの教員・学生計36名が令和3年4月22日から令和4年1月31日までにおこなった活動です。「地産地消」「スローフード」をテーマに、「食育」「緑育」の場を提供することを目的に設置された松阪農業公園ベルファーム（以下ベルファーム）と連携をし、1「ロゴや弁当作りを通じ、生産者と消費者の橋渡しをする」2「消

ベルファームと協働して、
地産地消を広めようプロジェクト

費者に農家の思いを伝えることで、商品の認知度向上を図る」3「地域住民に南勢地域の食の豊かさに気づいてもらい食を通じた健康意識を高める」ことを目的におこなわれました。本活動では、学生対象のアンケート実施や弁当献立の提案・ロゴやポップの作成・親子調理体験・生産者との交流会・SNSを通じた情報発信など多様な活動をおこないました。



学生による地域連携活動

様々な活動をおこなったこのプロジェクトで地域住民との交流を図った活動が、「生産者との交流会」と「親子調理体験」でした。

生産者との交流会では、学生たちが作物の品種や特徴、収穫までの育ちや圃場の管理などについて生産者の方から学んだそうです。また一方的に学ぶだけではなく、学生の感性を活かし商品のロゴ作成をおこない販売促進の一翼を担うなど、生産者と学生による双方の交流が図られた活動となりました。

親子調理体験は、令和3年10月9日、10日におこなわれました。計30組60名の親子が参加し、ベルファームで収穫した食材を使用し学生が考えた献立を参加者が調理・実食しました。学生たちは、当日の献立提案、食材のミニレクチャー、調理の補助など当日のプログラムを円滑に進める役割を担いました。また、調理の空き時間

には親子で野外活動を楽しめるよう工夫をするなど、単なる調理体験ではなく自然の中で体を動かす楽しさを伝えることができたそうです。



親子調理体験中の参加者と学生さんです



活動を終えて

今回の活動に参加した学生からは「広いベルファームの自然や環境など食材だけではなくフィールド全体を生かした活動をしたい。」「SDGsは身近なことだ、をテーマにフードロスを様々な人に伝えていきたい。」との声が聞かれました。また駒田教授から今回の活動について、「学生が地域住民と交流することは、地域には様々な考え方を持った人がいるということを知り、多様な価値観を持った人とのようにふれあっていくかについて学ぶ貴重な機会となる。また地域住民や高齢者が多い農業従事者にとっては、若い学生と活動しその感性に触れることが活力につながっている。」との話がありました。また「生産者だけではなく橋渡しをしてくれる公務員の姿をみて、公務員を目指すことを目標とし、就職した学生もいる。」との話もありました。



今後の活動については、「活動拠点を広げ、食・自然についての親子体験型活動をおこない、災害時も含めた生きる力(考えて行動する力)を育んでいきたい。また三重県が重点的にアピールしている伊勢茶などの食材の広報活動に携わり、あらためて三重県の良さを県民に気付いてもらえる活動を展開していく。」との話がありました。

地域福祉とのつながり

今回取り上げた「ベルファームと協働して、地産地消を広めようプロジェクト」は「食育」や「農業」をテーマに活動が展開されており、一見福祉とは無関係に感じます。ところが、活動を深く知っていくと「地域の活性化」や「SDGs」など地域福祉分野において注目されているキーワードが出てきました。この活動を始めた地域の様々な活動の根底には、「地域福祉」につながる想いや考え方があり、と云えるのではないのでしょうか。

終わりに

学生による地域活動は、駒田教授の話にもあったように学生にとっては様々な価値観・存在にふれる貴重な体験であること、地域や地域住民にとっては、新たな価値観や感性にふれることやそれを生かした新たな取り組みができること、が挙げられることが分かりました。学生は地域住民でもあり、地域を支える主体としても活動ができる貴重な存在であること、広い分野で学生による地域との連携活動が広まっていけば、地域の活性化や地域住民の活力、ひいては地域福祉が目指す「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしている社会の実現」につながるのではないのでしょうか。

最後に、ご協力いただいた皇學館大学 駒田教授、同大学地域連携室のご担当者様、松阪農業公園ベルファームのご担当者様、お忙しい中記事掲載にご協力賜りまして誠にありがとうございます。この場を借りて心より御礼申し上げます。





仕事の「バランス」、普段のわたし

——みんなのワークライフバランス——

第5回

今回は、亀山市社会福祉協議会の
豊田夏美さんにお話を伺いました。



現在のお仕事内容を教えてください。

亀山市で生まれ、子どもの頃から地域の方たちにお世話になり、見守られながら育ってきました。何かの形で地域の方たちに恩返しができたらという思いで、亀山市社協に入職して6年が経ちます。現在は、地域包括ケア推進係で第1層生活支援コーディネーターとしてお仕事をさせていただいています。生活支援コーディネーターというのは、高齢者の方が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう生活支援や介護予防の仕組みづくりを地域住民やさまざまな専門職と連携しながら

進めていく専門職です。具体的には、地域で住民同士がゴミ出しや庭の草取りなどちょっとした助け合い活動を行うちよこボラ（ちよこつとボラ）の略称のしくみづくりを支援したり、高齢者の居場所である、ふれあい・いきいきサロンの活動支援などを行っています。

また「地域福祉カルテ」や「高齢者のための社会資源のしおり」を作成して、地域の社会資源を把握・整理し、見える化を行っています。それ以外にも地域での見守り体制の構築に取り組みなど地域のみなさんと一緒になってお仕事をさせていただいています。

休日の過ごし方を教えてください。

休日は、友達や妹と気になるカフェに行ったりして、まったり過ごしていることが多いです。コロナ禍ということもあり、最近は県内が中心ですが、たくさん素敵なお店があり「三重県にこんな素敵な場所が

あったんだ！」と再確認しています。社会人になって、コーヒーが好きになり、自宅やカフェでコーヒーのいい香りに癒されています。コロナ禍になってからは家族の時間も増え、週末には家族4人で「おうち飲み会」を開催して、お互いの仕事の話からたわいのない話まで、お酒を飲みながら盛り上がっています。



カフェでごはん

美味しいコーヒー

また、今年は3年ぶりにキスマイのコンサートに行きました。非日常的なキラキラした空間に、パワーをもらい「また明日から頑張ろう」と改めて思えました。コンサートのような幸せのあふれる空間が好きなので、何年も行けていない夢の国にもそろそろ行きたいなあと考えながら、エレクトロカルパレードの音楽を聞く毎日です。夢の国と一緒に行ってくれる人、募集中です（笑）。休日にしっかりパワーをチャージして、また笑顔で仕事を頑張れるように過ごしています。



久しぶりの妹とコンサート

そうだ！先輩に聞こう

連載 第4回

本連載は、悩める若手職員・新任職員様から業務上でのお悩みや困り事をお預かりし、そのお悩みに、県内の福祉施設で働く仲間である同業種の先輩からメッセージをいただき新任職員・若手職員を応援する連載です！

きっと、同じような悩みをもつ仲間もいるはず！先輩職員からのメッセージをヒントにあなたの業務に活かしてくださいね★

利用者家族からの要望、どうしたら？

相談者 高齢者福祉施設
経験年数 4年



今年から訪問介護の担当になりました。利用者家族から対応できない事への要望があり、対応に悩むことがあります。どうすれば良いでしょうか。

ひとりで訪問すると、相談できる相手が居ない中で咄嗟の対応を求められる事もあって大変ですよ。

こういうときは、まずは上司に報告をしてケアマネジャーにも相談をしてください。

介護保険制度の中で、訪問介護の業務範囲が明確に定められています。またその方のサービス計画がどういう目的でどのように立てられて、訪問介護は計画のどの部分をもとにサービスを提供しているのか、これらを整理しておくことが大切です。

そしてこのことを、ケアマネジャーから利用者やご家族にきちんと説明してもらおうと良いと思います。

一方で、そのような要望には利用者やご家族のニーズが隠れている場合もあります。そういったニーズを見逃さずに適切に繋げることができれば良い支援ができるのではないのでしょうか。



高齢者福祉施設
介護職員
ケアマネジャー
【経験年数 16年目】

モチベーションの上げ方がわからない。

相談者 社会福祉協議会
経験年数 1年目



仕事を行う中で、モチベーションをアップする方法を教えてください。

モチベーションのアップってどうすれば良いのか悩みますよね。

いろいろな方法があるかと思うのですが、その仕事もつ意味を意識するのも良いかと思えます。私はかつて、当時の上司から「その仕事は誰に向けてのものかを考えなさい」と言われたことがあります。口では顧客ファーストと言いながら、目の前にあるつまらない作業に飽き飽きとして、「それを積み重ねた先にあるもの」が見えていないのがバレバレだったんだと思います。

また、仕事のモチベーションが高いときは、趣味や恋愛など仕事以外のことも充実していたように思います。プライベートも思い切り楽しんで、仕事も充実させてください。



社会福祉協議会
社会福祉士
【経験年数 20年目】

※ 掲載したお悩み等は、本会が実施した新人向け研修等の参加者からお寄せいただいたものから広報委員にて選定のうえ、一部要約及び編集して掲載しています。

※ 個人の特定を避けるため、新任職員及びメッセージをお寄せいただいた先輩職員の両者を匿名で掲載をしています。ご了承ください。

子どもの居場所づくり応援アドバイザー派遣

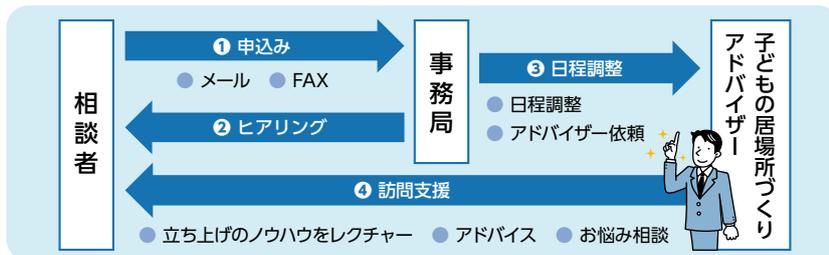
子どもの居場所の開設を予定している団体・個人、子どもの居場所を運営している団体・個人の方へ

県内で活動する子どもの居場所（子ども食堂、学習支援教室、フードパントリー等）における人材を育成するため、子どもの居場所に関する様々な知識や経験のある有識者を「子どもの居場所づくり応援アドバイザー」として派遣します。

利用期間 令和4年10月28日（金）～令和5年2月28日（火）
※申し込みは令和5年1月31日（火）まで

費用 無料（アドバイザー派遣にかかる講師料・交通費は事務局が負担します）

アドバイザー派遣の流れ



申込方法 規定の応募用紙により事務局へFAXまたはメールにてお申し込みください。応募用紙は、ホームページ（三重県社会福祉協議会 お知らせ）からもダウンロードできます。

お問合せ 三重県社会福祉協議会 地域福祉課 子どもの居場所担当
〒514-8552 津市桜橋2丁目131（三重県社会福祉会館 2階）
TEL 059-227-5145 FAX 059-227-6618 Email chiiki@miewel.or.jp

令和4年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

① 基本補償（賠償・見舞） 保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5～7万円 通院時 1～3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）



三重県共同募金会からのお知らせ

スポーツチームと共同募金の連携

三重の赤い羽根サポーターチーム（伊賀FCくノ一三重、ヴィアティン三重）のご協力により、ホームゲーム会場で募金活動を行いました。

伊賀FCくノ一三重（女子サッカー）



実施日・会場

- 令和4年10月2日（日）朝日ガスエナジー東員スタジアム
- 令和4年10月9日（日）上野運動公園競技場

10月9日（日）のホームゲーム最終戦には多くのファンの皆さんが試合会場に集まりました。寄付いただいた皆さんへは伊賀FCくノ一三重と共同募金のコラボグッズの手裏剣キーホルダーを配布しました。



コラボグッズ

ヴィアティン三重（男子サッカー）



実施日・会場

- 令和4年10月16日（日）朝日ガスエナジー東員スタジアム

当日はヴィアティン三重の選手の他に、ガールスカウト三重県第12団の皆さんにも募金活動にご協力いただきました。

募金に際してはファンの皆さんと選手が写真撮影する等、交流の場ともなりました。



コープみえ 20 周年フェスタに出展しました

実施日 令和4年10月22日（土）

会場 メッセウイング・みえ

共同募金のしくみや募金の活用内容を県民の皆さんへお知らせするために、コープみえ 20 周年フェスタに出展しました。

会場にはパネル展示の他に、募金型カプセルトイを設置して来場者の方々に楽しんでもらいました。

コープみえには共同募金運動時に会員の皆さんへ共同募金の呼びかけをしていただいています。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目 131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック